

〔出資法人の自主性・自律性の向上に向けた取組〕

経営基盤の充実・強化

- ・当法人の収入は、賛助会員からの賛助会費収入、観光案内所における乗車券の販売手数料、松山城メダルの販売手数料、物産展売上手数料であるが、これらの収入のみでは運営経費を賄うことができず、不足分については、引続き、主に指導監督を受けている松山市からの運営費補助金で賄っている状況である。
- ・このため収入全体の7割以上を占めている松山市からの補助金が削減されたことなどに伴い、19年度正味財産増減額は3,160千円の減少となっており、また、事業についても縮小せざるを得ない状況にあり、法人としても厳しい経営状況が続いている。
- ・このようなことから、収入増加に向けた取組みとして、賛助会費収入や販売手数料収入の確保のほか、18年度からは当法人のホームページ等において広告料収入の確保に努めているが、引続き改革実施計画にもあるように、アウトソーシングの推進や管理コストの縮減・自主財源の拡大を図り、一層の経営基盤の充実・強化に努めていただきたい。
- ・なお、賛助会費収入については、17年度以降減少傾向にある中、新規会員をどのように獲得するかが重要であるにもかかわらず、当法人のホームページにおいて、賛助会員の入会方法や賛助会費などの情報が掲載されていないことから、広く県内全域から新規会員を獲得するためにも賛助会員の入会情報等の充実を図っていただきたい。
- ・昨年度2次評価で提言した「H21秋からのスペシャルドラマ放映を活かした観光客誘致」については、当法人においても絶好の機会と捉えているようであり、受入体制の強化・PRに努めることとしている。
- ・昨年度2次評価で提言した「コンベンション数」や「観光客数」等の改革実施計画の取組指標への設定については、松山市観光振興計画等においても、目標数値として設定されているところであり、当法人の活動の成果をわかりやすく対外的にアピールできる指標であることから、次回計画の見直しに際してはぜひ取組指標に加えていただきたい。  
また、同様に昨年度2次評価で提言した「当法人のホームページのイベントカレンダーの充実」については、現時点で十分な対応はなされていない。毎年度、当該年度に開催される予定のコンベンション情報をまとめた「コンベンションカレンダー」を作成し、賛助会員等に送付しているところであるが、当法人のホームページに掲載されている「イベントカレンダー」にはほとんどの情報が掲載されていない。県内外の観光客等に向けた積極的な情報発信という面から、学会等の参加者が限定される行事を除いた一般向けのイベントを網羅して掲載するなど、ホームページの充実を図っていただきたい。
- ・なお、当法人の事業は、県全体の波及効果も見込まれることから、本県への観光客誘致を効果的・効率的に行うため、県等関係機関との密接な連携を図る必要がある。

【収入増加に向けた取組み】

- ・賛助会費収入や販売手数料収入の確保のほか、当法人のホームページにおける広告料収入の確保

〔総合的評価〕

- ・引続き、経営、組織等について主導的な立場にある松山市の指導監督を主に受けつつ、事業や組織の見直し、経費節減などに取組むとともに、賛助会費収入等自主事業収入の拡大を図り一層の経営基盤の充実・強化に努め、コンベンションや観光客の誘致を図ること。
- ・当法人が、冊子として毎年度作成している「コンベンションカレンダー」について、当法人のホームページに掲載されている「イベントカレンダー」にはほとんどの情報が掲載されていないことから、県内外の観光客等に向けた積極的な情報発信という面から、一般向けのイベントを網羅して掲載するなど、ホームページの充実を図ること。